

本との出会い

一般教科 東田 洋次

みなさんは、文章を読んだり、書いたりすることは得意ですか？

私は、学生時代、国語が苦手でした。現在も得意とは言えず、この文章も苦しみながら書いています。こちらに赴任するまで、高専生は理系科目が得意で、私のように国語に苦勞している人ばかりだろうと予想していました。実際には、国語などの文系科目が得意で、逆に数学などの理系科目が苦手な学生がかなりいるようです。私の担当科目の物理を苦手とする学生も多いようで、予想は大きく外れました。

さて、私が国語を苦手とした原因を考えてみると、おそらく読書量の少なさのような気がします。小さい頃は、外でばかり遊んでいて、家の中で静かに読書をするような子供ではありませんでした。読んだ本も小説ではなく、宇宙や地球などの自然科学についての本などで、読書感想文のために、冒険小説を四苦八苦して読んだ事を憶えています。高校に入っても、受験勉強と部活動に忙しく小説のような本は読まなかったと思います。しかし、当時、世間では物質の根源である素粒子のニュースが大きく取り上げられて、流行りもの好きの私は素粒子の入門書をわけもわからず読んだ事を憶えています。小さい頃から理科が好きだった私ですが、現在も物理、特に素粒子の研究を行っているのは、このときの本との出会いがきっかけかもしれません。

このようにあまり読書をしない私でしたが、自然科学の本だけでなく、いろいろな本を読みたいと思うようになったのは、大学の時でした。海外旅行に行きたいと思い、旅行記を読むようになったことが、きっかけだったのでしょうか。旅行記を読み、その国の歴史を知りたくなって、歴史書を読んだり、その場所に関係した小説を読んだりというように、ひとつの本から派生して、ジャンルにこだわらず、いろいろな本を読みました。きっかけは何でもいいでしょう。ひとつの本を読んでみると、それから派生していろいろな本を読みたくなってきて、本の世界が広がっていきます。これは、学校の勉強や研究についても言えることです。何かのきっかけがあれば、皆さんも、勉強や研究に邁進できるのかもしれない。

最近では、専門分野の本や論文ばかり読んでいますが、息抜きとして小説を読んだりもします。また、専門分野以外の英語の勉強のために、ハリー・ポッターの原著を買ってみたのですが、俗語が多くなかなか読み進める気になりません。しおりを挟んだまま、本棚の片隅に立てかけてあると思います。私の中では、ハリー・ポッターはまだ魔法学校に入学していません。

私の読書歴や本との出会いを書きましたが、今まで本をあまり読んでいなかった人にも参考になれば幸いです。そのような人にも本を読むようになるきっかけが訪れるはずです。そのきっかけ作りとして、図書館に行っているいろいろな本を開いてみることもひとつの手です。また、最近は著作権の切れた小説が、青空文庫などのサイトでパソコンだけでなく携帯電話でも読めるようです。携帯電話でメールやゲームばかりせず、時間が空いたときに

ちょっと読むのはいかがでしょう。人との出会いも大切ですが、本との出会いも人生を変える大切なものになるかもしれません。

最後に、物理について、一言。教科書以外に、目で見ても楽しい物理の読み物もたくさんあります。図書館にもニュートンやパリティや数理科学など科学の読み物や雑誌がたくさんあります。物理に興味を持っている人だけでなく、物理が嫌いになった人も一度、物理の本を手にとって眺めてみよう。今までに知らなかった世界がそこに広がっているかも知れません。